

災害が発生したり、発生するおそれがある場合に、市は避難に関する情報を発表します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページ等で確認できるので、日頃から情報を入手して確認するようにしましょう。また、災害時の連絡方法もチェックしておきましょう。

▶ アプリ「つくばみらい市防災」



防災行政無線が聞き取りづらい時でも安心!

▶ 登録制メール配信サービス

携帯電話やパソコンのメールアドレスに、防災行政無線や市からのお知らせを配信します。



スマートフォン用 URL <https://plus.sugumail.com/usr/tsukubamirai/home>

二次元コードを読み取れない方は、次のアドレスに直接空メールを送信してください。

「つくばみらい市メール」登録用アドレス
▶ t-tsukubamirai@sg-p.jp

ご登録の前に

携帯電話で迷惑メール対策の設定をされている場合は、次の2つの設定を行ってからご登録をお願いいたします。

- 「sg-p.jp」ドメインからのメールの受信を許可する
- URL付きメールの受信を許可する

※迷惑メール対策をされていない場合でも、「仮登録完了のお知らせ」メールが届かない場合は上の2つの設定をお願いします。

▶ 防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービスです。

電話 0297-47-6377

※通話料は、利用者負担となりますのでご了承ください。

▶ スマートスピーカー

ご自宅にスマートスピーカー(アレクサ、グーグルホーム)をお持ちの場合、最新の防災行政無線の情報を配信します。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

▶ Yahoo!防災速報

台風接近時や災害発生時などに、注意喚起や避難情報を配信します。

※防災行政無線の放送は、配信されません。



▶ 電話配信・FAX配信

防災行政無線の放送内容を、ご自宅の電話またはFAXに配信します。

<対象世帯>

- ・電話配信:携帯電話やスマートフォンをお持ちでない世帯
- ・FAX配信:聴覚に障がいがある方に限る

<申請方法>

事前に「電話・FAXによる防災行政無線配信サービス登録申請書」を市防災課へ提出してください。

防災情報ホームページ

気象庁

全国の天候や気象警報・注意報、気象データ等の情報を掲載



気象庁 土砂災害警戒判定メッシュ情報

土砂災害発生危険度の判定結果を掲載



国土交通省 川の防災情報

全国の河川の雨量や水位等の情報を掲載



災害時の音声での連絡方法

公衆電話

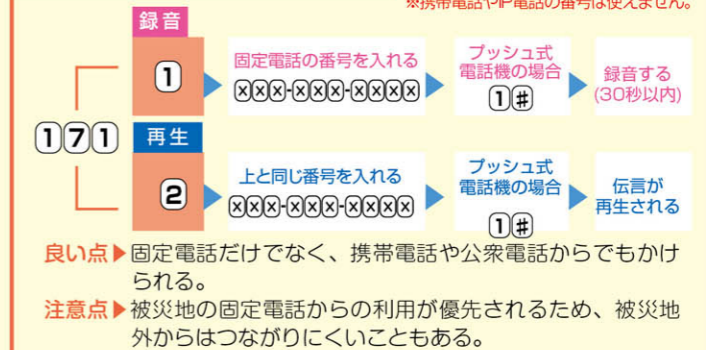
災害時、公衆電話は一般回線より優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使える場合があります(国際電話は使えません)。

良い点▶ 固定電話や携帯電話が繋がらないときの連絡手段として使用できる。

注意点▶ 近年、公衆電話の数が減っている。災害時は利用者が殺到する。

災害用伝言ダイヤル(171)

※被災地の番号でないと入力できません。※携帯電話やIP電話の番号は使えません。

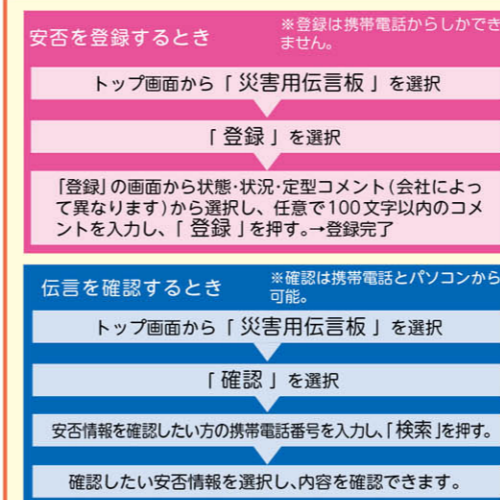


災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板の体験利用期間
災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)、携帯電話の災害用伝言板は、下記の期間に体験利用できます。

- 毎月1日・15日
- 正月三が日
- 防災週間(8月30日～9月5日)
- 防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)

災害時の文字での連絡方法

災害用伝言板(携帯電話のサービス)



- NTT ドコモ
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- au by KDDI
<http://dengon.ezweb.ne.jp>
- ソフトバンク
<http://dengon.softbank.ne.jp>
- ワイモバイル
<https://www.ymobile.jp/dengon/>

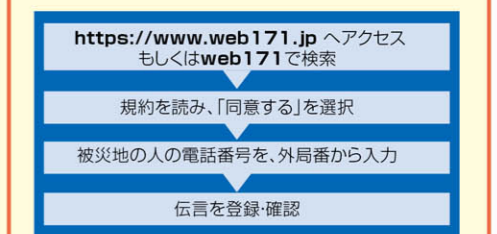
良い点▶ 災害時に比較的つながりやすい。パソコンからも確認ができる。

注意点▶ 携帯電話を使い慣れていないと戸惑う可能性も。電池が切れると使えない。

災害用伝言板(web171)

災害用伝言板(web171)は、インターネットを利用した安否確認伝言板です。パソコン、スマートフォン、携帯電話等、インターネット接続が可能であれば、どの端末でも利用できます。

※携帯電話・PHS・加入電話・ISDN・ひかり電話・IP電話等、全ての電話番号で登録が可能です。



携帯電話のメール

携帯電話は、通話よりもメールが有効です。災害時は、相手に届くまでに時間がかかる場合があります。

良い点▶ 通話よりはバッテリーの消費が少ない。
注意点▶ 災害時にはメールが届くのが遅れる場合がある。

パソコンのEメール

東日本大震災では、電話が使えない状況の中でも、パソコン(インターネット)を使ったEメールは比較的届きやすかったと言われています。

良い点▶ 通話よりはバッテリーの消費が少ない。
注意点▶ 災害時にはメールが届くのが遅れる場合がある。

遠隔地に連絡中継点をつくる

災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。遠隔地の親せきや友人などを経由して情報交換ができるように連絡中継点を決めておきましょう。

「エリアメール」・「緊急速報メール」の配信

NTTドコモが提供する「エリアメール」サービスと、au、ソフトバンク、ワイモバイルが提供する「緊急速報メール」サービスを活用し、災害・避難情報の配信を行っています。

- 情報発信時に市内にいないだけで受信が可能です。
- 通常のメールサービスとは異なり、災害時でも一斉配信が可能です。
- メールアドレスの登録が不要です。
- 緊急速報メールを受信すると専用着信音が鳴り、情報が画面上に表示されます。

配信内容▶ 避難準備情報、避難勧告・指示、警戒区域情報、噴火警報(レベル3未満の火山周辺警報を除く)、指定河川洪水警報(氾濫注意情報を除く)、弾道ミサイル情報、東海地震予知情報、航空攻撃情報、ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報

利用方法

エリアメール・緊急速報メールを受信するためには、携帯電話の受信設定をする必要があります。なお、機種によっては対応していないものや、一部の機能が利用できないものがあります。詳しくは各携帯電話会社のホームページをご覧ください。

- 株式会社NTTドコモ 緊急情報「エリアメール」
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/>
- KDDI株式会社(au) 緊急速報メール
<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>
- ソフトバンク株式会社 緊急速報メール
https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/